

# みちしるべ

日本福音ルーテル教会  
九州教区女性会

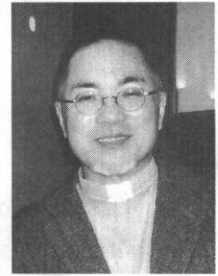
発行代表者 岩切 旻世

編集者 財津 悠子

印刷所 ヤマダスピード製版

### 主題聖句

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」ローマの信徒への手紙 12章15節



## 出会いの中で変えられるわたし

宮崎教会 牧師

秋山 仁

私たちは、自分と異なった経験をした人に対して敬意を持つことができるでしょうか。

人は得てして自分のこれまでの経験に基づいて物事を判断しがちです。しかし、実は、そうした自分の物の捉え方が、狭かったりすることには、気づかないものです。自分と異なった経験をした人との出会いは、そうした「わたしの枠の狭さ」に気づかせてくれる機会であるし、私をより広い世界へと導いてくれる出来事でもあります。出会いの中で、人は自分が変えられて行く体験をするのです。

教会は、本来異なった経験をした人同士が出会う場所です。お互いに自分の持っている物の捉え方の枠の狭さに気づき、変えられて行く場であるはずで、その出会

いと気づきに対して謙虚であるとき、教会が、豊かさに溢れた関係を紡ぐ場であることを見出すことができます。そうした豊かさを備えた出会いは、新しい人との出会いに限らない。いつも顔を合わせているなじみの人との間にも、それはやはり起こり得ることなのだと思えます。「この人はこう」と、決めつけるのではなく、相手が常に変わり得る存在であることを意識するなら、新鮮な発見があるでしょう。そのことによって、自分もまた変えられていく存在であることを見出すでしょう。

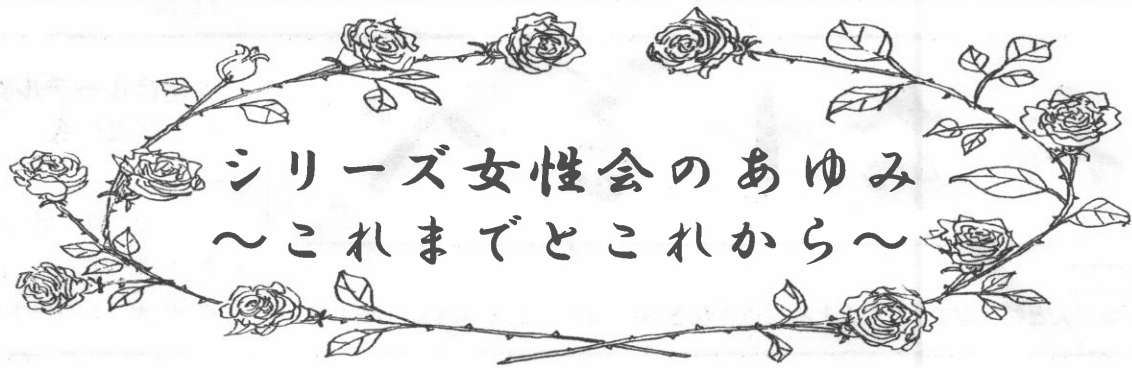
福音書に、カナンの女性がイエス様を訪ねて来る物語が出てきます。その女性は、イエス様にこどもの癒しを求めますが、イエス様は「こどものパンを取り上げて、小犬

に与えてはいけぬ」と断ります。なぜなら、イエス様は、自分を「イスラエルの失われた羊のところにしか遣わされていない」と理解するからです。

しかし、そう言ったイエス様に向かつて、「小犬でも落ちたパンくずは、いただきます」と応じたカナンの女性。それは、必死に、しかし機知に富んで、イエス様の物の捉え方の枠の狭さを指摘する女性の姿です。そして、その女性の受け答えの中に、自分自身の物の見方の枠の狭さを感じるとイエス様がいます。「それほどいうのなら、よろしい」と態度を鮮やかに変えられるイエス様がいます(マタイ一五章二一〜二八節)。イエス様が、その女性に伝えて自分の物の見方の枠に気づき、変えられていく物語は、興味深い話です。

出会いの中で自分が変えられていくことに、大胆でありたいと思うのです。そのようにお互いに働きかけ合う関係の場としての教会でありたいものです。





これまでのあゆみ

主よ、老いた私をなおも  
負いつけて下さい

水俣教会 池嶋 春恵

今日迄ルーテル教会婦人会の歩みは本当に素晴らしいものがあったと思われます。思い返すと長い長い道のりです。献身と努力によつて積み上げられて来た、その時その時の役員の方々に心から感謝申し上げます。私も婦人会の働きに及ばずながら参加させてもらい、いろんな事を学びました。女性会を通してみ言葉に学び、活動に加わり成長する事が出来て良かったと思つて

会等を思えばそこに主が道を開いて下さり主の栄光を現す良い働きだったと思ひます。

います。あの東北を襲つた大震災の折りの雑巾作りとか各教会の問題解決の為の祈り会とか、主の祈りについての学びの修養

近頃私も老を感じるようになって来ても欠席届ばかりで申し訳なく思つています。当教会も会員減少、残り少ないものだけで例会を続けています。教会を支える為の一人一役精一杯やつてるつもりでも、若い世代への

す。先日は一人暮らしで介護を受けて生活されている姉宅を訪ねました。お互いの信仰の交わりを深める良い機会となり、讚美歌と聖書を読み、楽しい交わりが出来て互いに喜び合いました。今後の女性会の在り方もそのような方と共に会つて過ごす時を持つ働き方もいいのではな

りません。その現状の中、時代の流れと、ものの価値観も日々変化しておりやむを得ない現実と思われます。老いた会員も主日礼拝出席が出来なくつつありま

「わたしはあなた達の為に立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。」(エレミヤ書二十九章十一節)と約束なさっています。我々の為にいつもとりな

して下さる復活の主の命に生かされていく事をいつも喜び感謝し、主の導きに信頼しつつまいりましよう。

りましよう。



これからのあゆみ

### 関わっていききたい

二日市教会 木原 陽子

子ども三人子育て真っ最中です。その為いろいろと用事が入り、日曜日はなかなか教会に通えず、女性会への参加もままなりません。教会の方々は、そのような私達をいつも温かく迎えて下さいます。子ども達も居心地がとも良いようで、教会へ行く事を楽しみにしています。女性会では、気負わず無理せずといった感じでお話をしたり讃美歌を歌ったりします。そんな交わりの中で、集う方々の思いを知る事が出来ます。



人と関わり合う事は大切な事です。人の中に飛び込んでいくのは、めんどろだと思ったり、勇気も要ります。でも、関わらなければ、関係づくりは出来ません。思いを分かち合ったり、寄り添ったりしながら、もつと身近な存在で、お互いの心に響き合う女性会であれば、と思います。その為にも、私自身もつと関わっていききたいです。

### 九州教区青年会報告

こんにちは青年会です

青年会代表 因 てい子

(箱崎教会)

いつも青年会活動にご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。

今年も1、2ヶ月に1回のペースで活動を予定しております。4月26日に箱崎教会にて聖研、新しいメンバーの歓迎バーベキューを行いました。熊本からも3名、新青年2名を含め、箱崎の子供たちも参加してくれて、計30名近くが集まり、にぎやかで恵まれた会となりました。次回は6月に熊本で聖研とポーリング大会を企画しています。また今年も恒例の素麺販売も行いますので、ぜひお買い求めください。今後も教会訪問をはじめ、楽しい活動を計画していききたいと思っておりますので、お近くに青年がいましたら、参加を勧

めてくだされば幸いです。詳細は各教会に掲示していただいている活動案内ポスターをご覧ください。

尚、2013年度に教区女性会の会からいただきました青年会への支援金につきまして、この場をお借りして感謝を申し上げますとともに、報告させていただきます。

教区女性会支援金  
50,000円

全国青年修養会参加費補助  
(9,000円×2名分)

18,000円

県外参加者交通費補助

32,000円



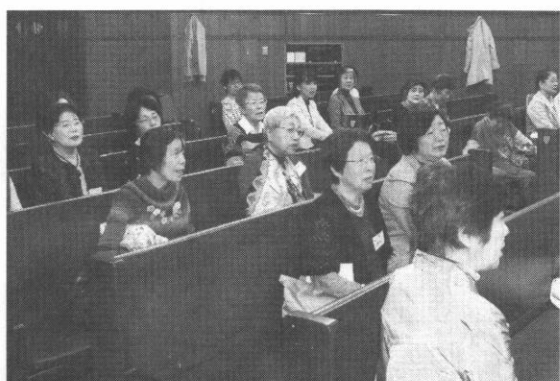
バーベキューを楽しむ青年たち

拡大会長会に出席して

大江教会 寺本 晟

4月6日～7日に箱崎教会で開催された、九州教区女性会拡大会長会に出席させていただきました。この会は、教区内の女性会長・サバ神学院支援委員、シルバープロジェクト委員で構成され、35名が参加しました。一日目は親睦と黙想、二日目は①サバ神学院支援について ②シルバープロジェクト委員会からの報告 ③役員選出方法についての協議が行われました。議題については、予め各教会で話し合ったことを報告しました。特に協議①サバ神学院の支援については、九州教区担当ということもあり、スライド上映を含めて二日目の午前中(約二時間)活発に意見交換がなされました。主な意見については、先日発行されました「九州版ひびき」―拡大会長会報告号―に掲載されていますが、支援の継続につ

いては、賛否両論あり、又その他の要望・方策についても各教会に温度差があることを強く感じました。今回の協議を受けて、さらに検討が重ねられ、よき道(方向)が見出されることを祈りたいと思います。私自身、今回初めての参加でしたが、各教会の女性会会長の皆様と親しく交わり、熱心な協議に加わることができてとても有意義な二日間でした。このような機会を与えてくださった神様に心から感謝致します。皆様、ありがとうございます。



熱心な協議となりました

春の全国openキャンプ

2014年3月26～28日

「以神伝信」

福岡西教会 大塚仁京(高一)

今回の春キャンプのテーマは「以神伝信」それでもキミを愛している」でした。

このテーマを最初聞いたときはよく意味が分かりませんでした。が、プログラムを重ねていくうちにだんだんとその意味が分かってきました。

それは、神さまは私たちが気付かないうちに私たちを助けてくれるということ。そのくらい神さまは私たちのそばにいて、ということを学びました。

また「罪」についても学びました。罪とは本来の姿にないことを全て罪ということを学びました。そう考えると私は罪だなと思いましたが、神さまはそんな的外れな人でも包みこむように愛してくれます。

今回の春キャンプはとても難しい内容でしたがどれも心に残るプログラムでした。これを機に洗礼・堅信を受けてみようと思 today と思いました。

「春キャンプに参加して学んだこと」

室園教会 常定 希(中3)

私が今回参加して一番心に残ったことは、神様からの救われ方です。全国各地から集まったティーンズたちと共に考えました。プログラムの中で、「ある一人の青年が橋から落ちてしまった。けれど、彼はイエス様によって助けられた」という物語を元に四つの救われ方のうちどれが救われたと感じるのかをグループで話し合いました。人それぞれに考え方は色々でたくさん考えを共有することができました。そして、罪とは何かをも同時に考えてみました。私のグループでは、罪とはこういう事だとはすぐに思いません。浮かばず悪戦苦闘しました。しかし、日がたつにつれ、みんなから意見が出て考えをまとめることができました。

神様からの救われ方は様々な事もあると思えました。これを機に更に神様の事を信じていきたいと思 today います。

教区女性会 2013年決算報告と2014年予算

	科目	2013年		2014年
		予算	決算	予算
収 入	1 教区会費	398,400	388,800	388,800
	2 みちしるべ購読料	23,800	24,200	24,200
	3 感謝献金	160,000	214,150	160,000
	4 席上献金	50,000	25,500	50,000
	5 シルバープロジェクト献金	50,000	145,900	50,000
	6 預金利子		73	
	7 雑収入		0	
	8 前年度繰越金	314,489	314,489	249,980
	合計	996,689	1,113,112	922,980
支 出	9 役員会費	120,000	81,350	120,000
	10 会長・役員活動費	100,000	69,260	100,000
	11 通信費	25,000	25,010	25,000
	12 事務消耗品	30,000	14,740	30,000
	13 みちしるべ印刷・発行	100,000	98,010	100,000
	14 集会費	200,000	174,587	130,000
	15 慶弔費	30,000	4,275	30,000
	16 支援費	200,000	200,000	200,000
	17 指定献金	50,000		50,000
	18 シルバープロジェクト指定	50,000	145,900	50,000
	19 連盟総会積立	50,000	50,000	50,000
	20 予備費	41,689	0	37,980
	21 次年度繰越	0	249,980	0
	合計	996,689	1,113,112	922,980

■特記事項

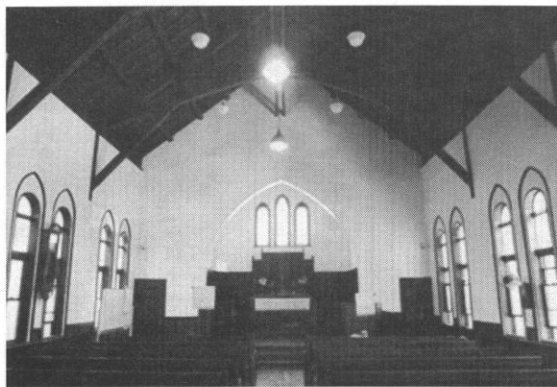
- 1. 会費 1200×324
- 2. みちしるべ購読のみ 200×121部
- 14. 修養会開催 6/22
- 18. シルバープロジェクト献金里村姉 10万円
- 4. 筑後地区集会献金

■教区積立金

シルバープロジェクト	1,265,238(利子261円)
連盟総会参加の積立	270,455(利子34円)

■連盟送金内訳

項目	内訳	金額
連盟会費	324人×2,600円	842,400
会報購読	113人×500円	56,500
サバ神学生支援	25教会	159,195
感謝献金	連盟指定68,300	
	感謝献金161,850	230,150
リストコイン	22教会	79,622
ACWC署名	17教会	45,345
合計		1,413,212



天井が高く明るい現在の礼拝堂

教会訪問 佐賀教会

5月18日、私たちの教会にとって「イエス・キリストの福音の初め」(マルコによる福音書1章1節)の場所にあたる佐賀教会を訪問しました。「九州における伝道の歩み」には次のように記されています。「佐賀教会はシェーラー師・ピーリー師と山内量平夫妻の4名によって、1893年4月2日の復活祭に最初の礼拝

が行われた。ここが今日の日本福音ルーテル教会の発祥の地である」。

今の教会の場所からは少し離れていますが、とにかく、福音宣教121年の歴史を(神さまの豊かな恵みを)肌で感じることでできる礼拝でした。この地に蒔かれた福音の種が、九州(全国)各地へ広がり、それぞれの場所で大くさんの花を咲かせたのだなあ、と。

さて、現在の佐賀教会は、会員数は減少し女性会も休会中です。しかしそこは、レインボーハウスの利用者さんたちの温かい声とあまいクッキーのにおいに包まれています。121年前に蒔かれた福音の種は次にどんな花を咲かせるのでしょうか。主を信頼しつつ、互いに祈り合ってきたと思います。(岩切)

### サバ神学院支援を 考える小委員会報告

4月7日の教区拡大会長会では、サバ神学院支援に対して貴重なご意見をいただきました。会長の皆さまが委員会作成の「サバ神学院との20年の歩み」を参考に、女性会・婦人会の意見を聞いてきてくださったことに感謝し「支えられている」と心が躍る思いでした。

委員会は「20年間のサバ神学生奨学金を支援したことを振り返り、今後も新たなビジョンを持つことにより継続していくことを要望する」と5ページに渡る報告書を女性会連盟に提出いたしました。それと同時に女性会連盟の中に「サバ神学院交流委員会(仮称)」の設置を要望いたしました。来年開催の総会で今以上に実りのあるサバ神学生支援が話し合われることを期待しています。

(九州教区連盟担当  
野村加寿子)

### 阿蘇山荘 お掃除ありがとう!

5月24日(土)阿蘇山荘清掃奉仕が行われました。熊本地区女性会、壮年、青年、九州ルーテル学院の職員、学生と総勢145名が集まり、草刈りにお布団干し、台所の食器等々丁寧に清掃し整えてくださいました。この阿蘇山荘で今年も教区中高生キャンプや夏期聖書学校が行われます。気持ちよく遊び、学ぶ機会が持てるのも熊本地区の皆さまのおかげです。暑い中のご奉仕ありがとうございました。

(A・I)



### 会計監査変更のお知らせ

福岡西教会女性会休会にともない、二日市教会に会計監査を交代することとなりました。これまでのご奉仕感謝いたします。

#### 新会計監査

白髭 檀姉 杉原正子姉  
どうぞよろしくお願いいたします。

### 主な活動報告

- 熊本地区女性会の会総会  
2月15日 健軍教会
- 筑後地区女性の会総会  
2月28日 日田教会
- 北九州地区婦人会総会  
3月6日 八幡教会
- サバ神学院支援を考える小委員会  
3月18日 室園教会  
4月24日 大江教会
- 春のティーンズキャンプ支援(5万円)  
3月26〜28日 千葉市少年自然の家
- 拡大会長会  
4月6〜7日 箱崎教会
- 第11回役員会・九州版ひびき発行  
5月1日 教区事務所

### ご 召 天



隈部 柳子姉	78歳	玉名教会	2014年1月13日
吉村 ちか子姉	76歳	健軍教会	2014年1月17日
永田 トメ姉	92歳	健軍教会	2014年1月18日
松村 幸子姉	90歳	久留米教会	2014年3月7日
炭谷 翠姉	89歳	熊本教会	2014年5月27日

神さまのみもとでの平安をお祈りいたします。

### ◆ 編集後記 ◆

梅雨の真っ最中のうっとうしい頃ですが、皆様おかわりありませんか? 95号をお届けいたします。お忙しい中原稿を書いて下さった方々、ありがとうございます。私のもとには手書きの原稿が送られてきます。誰よりも先に読んで、ひとり感動する役得を受けています。今回は初めて青年会から原稿をいただき、定期的な活動されていることを知りました。子ども達のキャンプ感想文と合わせて。若き日に主を覚えるという素晴らしさを思いました。

財津 悠子